

# 令和5年度第3回長崎原爆資料館運営審議会資料

## 次 第

### 1 報告事項

(1) 展示更新事業スケジュールの見直しについて

(2) 展示更新基本計画（素案）に対する

パブリック・コメント実施結果の概要について・・・別冊1

(3) 展示更新にかかる令和6年度取組内容について

ア 基本設計の作成

イ 市民参加ワークショップの開催

(4) その他

ア 長崎原爆資料館の指定管理者制度の更新について（令和6年9月～）

イ 原爆資料館収蔵資料の追加調査について

2 協議事項 長崎原爆資料館展示更新基本計画（最終案）について

・・・別冊2

資 料 （別冊1）長崎原爆資料館展示更新基本計画（素案）に対する

パブリック・コメント結果一覧

（別冊2）長崎原爆資料館展示更新基本計画（最終案）

令和6年3月22日

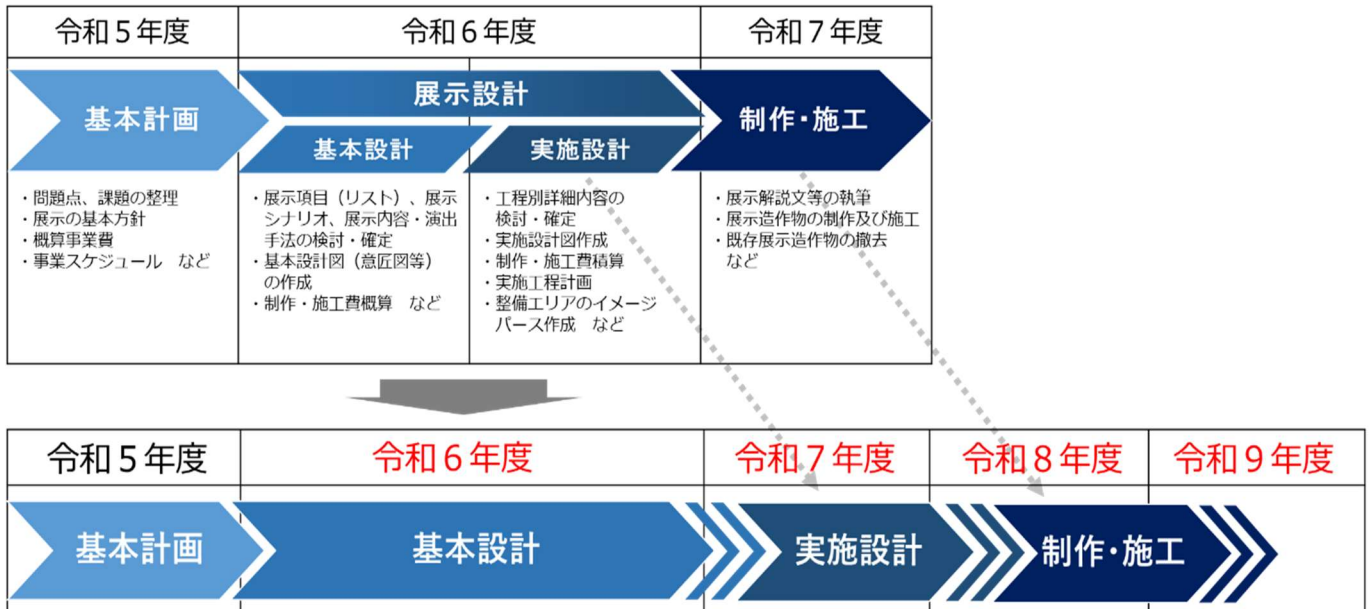
原爆資料館

# 1 報告事項

## (1) 展示更新事業スケジュールの見直しについて

市民参加のワークショップの開催など、新たな取組みを行いつつ、様々な意見を踏まえ、引き続き公開の場において、慎重かつ丁寧に検討を進めるためには、設計に要する時間を十分に確保する必要がある。

そのため、令和6年度は展示設計（基本設計及び実施設計）のうち、展示構成・展示内容を具体化する基本設計を行う。基本設計完成后、令和7年度以降に実際の工事に必要となる詳細な実施設計を行い、制作・施工の完了時期を令和7年度から令和8年度以降に見直す。



## (2) 展示更新基本計画（素案）に関するパブリック・コメント実施結果の概要について

別冊1参照

### (3) 展示更新にかかる令和6年度の取組内容について

#### ア 基本設計の作成

展示更新基本計画に基づき、展示構成・展示内容・展示手法等を具体化し、工事発注する際の詳細な設計図作成（実施設計）の前工程として、基本設計を行う。

・展示更新基本設計業務委託 24,762千円

○展示シナリオの検討（現況調査も含む）

展示項目（テーマ）

展示内容（目的・ねらい）

展示手法

○基本設計図（意匠図等）の作成

なお、基本設計図には、展示構成リスト、ゾーニング図、導線計画図、イメージ図、仕上げ概要、平面図、展開図、展示計画図、電気設備概要図等を含む。

○制作・施工費概算の算出

○実施工程表の作成

#### イ 市民参加ワークショップの開催

具体的な展示構成・展示内容等を検討するにあたり、これまでの長崎原爆資料館運営審議会（以下、「審議会」という。）及び専門的視点から検討を行う小委員会での議論に加え、より幅広い市民の声を聞くため、展示の課題や展示に求めるもの等について意見交換を行う市民参加のワークショップを開催する。

ワークショップで出された意見は審議会に報告し、基本設計に向けた検討を進めていく。

開催方法・開催時期なども含め次回以降の運営審議会でもご意見をいただきながら、来年度の早い時期に開催したいと考えている。

(現時点での想定案)

○開催時期 7～8月(3回程度)

○開催場所 原爆資料館内

○参加対象者 市内在住の方

○参加人数 1グループ5人程度、4グループほどを想定

※各開催回ごとに参加者を募集

○テーマ

基本計画の方針に沿って、若い世代(児童・生徒を含む)でも参加しやすいテーマとなるよう工夫する。

(例示)

- ・ 何度も見たい展示
- ・ 親子で見たい展示
- ・ 学習で利用したい展示
- ・ 行動したくなる展示
- ・ 障害者にやさしい展示 など

#### (4) その他

##### ア 長崎原爆資料館の指定管理者制度の更新について (令和6年9月～)

###### (ア) 指定管理者制度更新の方針

長崎原爆資料館の運営については、被爆継承・平和発信の重要性が増す中で多様化する業務に対応するため、原爆資料館の根幹となる資料の収集・調査研究や被爆体験の継承、平和発信などの業務は引き続き直営とし、施設の管理運営に関する業務について令和元年9月から指定管理者制度を導入した。

なお、導入にあたっては、業務の効率化を図るため、長崎原爆資料館と一体的に管理している長崎市平和会館及び長崎市平和会館と同一建物内にある長崎市歴史民俗資料館を併せた3施設をグループ化し、一の指定管理者を選定した。

今回の指定管理者制度の更新においても、この方針は継続することとしている。

## (イ) 次期指定管理者の概要

- ・ 名 称 NBC Socia-Trustee 共同事業体（以下の2者により構成）
- ・ 代表者 株式会社 NBC ソシア 代表取締役 藤井 潤

	代表団体	構成団体
名 称	株式会社 NBC ソシア	株式会社トラスティ建物管理
所 在 地	長崎市尾上町5番6号	長崎市桶屋町25番地
代 表 者	代表取締役 藤井 潤	代表取締役 中本 幸人

## (ウ) 指定の期間

令和6年9月1日から令和12年3月31日まで（5年7か月）

## (エ) 指定管理者候補者選定審査会による次期指定管理者の審査結果

公の施設の指定管理における経験と実績に基づいた計画であり、かつ、今後の可能性を感じる意欲的な提案内容となっていた。

特に、令和6年4月から指定管理業務を担う予定である長崎港松が枝国際ターミナルとの連携によるインバウンドへの取組みなど、事業体を持つ強みやノウハウを生かした提案が高く評価された。

将来的なビジョンも明確に示されており、今後の展開が期待できる提案となっていた。

【参考】原爆資料館の有料入館者数の目標値（候補者提案）

令和6年度 (9/1~3/31)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
35万人	72万人	68万人	67万人	67万人	67万人

## イ 原爆資料館収蔵資料の追加調査について

### (ア) 追加調査の状況と今後のスケジュール

被爆資料の個人寄贈者 1,020 名を対象に追加調査を実施している。このうち、連絡先が判明した 700 名に調査協力依頼の文書を発送し、その返答をもとに年次的に聞き取り調査等を進めている。

令和4～5年度		終了	令和6～7年度	
調査済 (文献調査含)	254 件		→	
調査協力依頼 への返答無	174 件	調査協力 再依頼		
宛先不明返戻	272 件	文献調査		
調査協力依頼 発送数計	700 件			

### (イ) 追加調査活用の一例 (令和5年度原爆資料館収蔵資料展より)



お母さんの形見となった防空頭巾



家族写真

この防空頭巾は被爆当時 15 歳の青年 (写真左から 2 番目) が身に付けていたもの。鳴滝町で被爆した青年は、お母さん (写真左端) の安否を確認すべく山里町の自宅に戻りましたが、自宅跡に残っていたのは、お母さんの愛用していたミシンと殆ど粉になった骨だけでした。青年はお母さんが自分の着物をほどいて手縫いしてくれたこの防空頭巾をいつも持ち歩いており、被爆後、お母さんを思いながら自宅に向かう際も身に付けていたそうです。亡きお母さんの形見として大切にしていました。

新たに聞き取ったエピソード

現物資料とあわせて、この遺品を身に着けていた青年の心情や母親を失った悲しみなどのエピソードと本人や家族の写真を掲示することで、当時の人々が置かれた状況を身近に感じることができ、原爆の非情さをより深く伝えるなど、訴える力がこれまで以上に強い展示となっている。

## 2 協議事項 長崎原爆資料館展示更新基本計画（最終案）について

第2回運営審議会、パブリック・コメントでのご意見を、展示更新基本計画（最終案）に次のように反映した。

### 第6章 展示更新の方針1－（2）－イー（エ） 方針の追加

- ・「Bコーナー（被爆の実相）全体の見直しも見据えつつ、放射線の影響による社会的差別について展示する。」を追加する。

### 第6章 展示更新の方針1－（3）－イー（ア）

- ・「歴史をきちんと見つめることが未来につながる、という姿勢に基づいて検討する」を「歴史をきちんと見つめることが未来につながる、という姿勢に基づいた展示とする」に修正する。

### 第6章 展示更新の方針1－（6）

- ・項目名「核兵器廃絶・核軍縮に向けた動きに関する展示」を「核兵器廃絶に向けた動きに関する展示」に修正する。

### 第6章 展示更新の方針1－（6）－イー（ウ）

- ・「核軍縮に向けた取組みが続いていることを示すことで、未来への希望を持てるような展示とする」を「核兵器廃絶に向けた取組みが続いていることを示すことで、未来への希望を持てるような展示とする」に修正する。

### 第6章 展示更新の方針1－（7）－ウ 展示の主な内容に追加

- ・「長崎市の平和教育の取組み」を追加する。

### 第6章 展示更新の方針1－（8）－イー（イ） 方針の追加

- ・「展示内容を効果的に伝えられるよう配置や色使い、照明の設定などを工夫したデザイン・空間づくりを行う。」を追加する。

### 第6章 展示更新の方針1－（8）－イー（エ） 方針の追加

- ・「若い世代や外国の方にもわかりやすい展示を目指す。」の個別の方針として、「多様な来館者に対応するモデルコース（所要時間別・年齢別等）を設定する。」を追加する。